

第3回アセットオーナー・プリンシプルに関する作業部会の開催

4月25日(木)に第3回アセットオーナー・プリンシプルに関する作業部会が開催され、アセットオーナー・プリンシプルのアウトラインが公表されました。

次ページ以降では、アウトラインの内容を含む当日の資料における論点等をまとめてご案内いたします。

なお、内閣官房のホームページに資料が掲載されていますので、以下のリンク先にてご確認ください。
(当日の議事要旨についてはまだ公開されておりません(4/30時点))

○内閣官房

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/bunkakai/asset_dai3/index.html

また、関連する年金通信については、以下のリンク先にてご確認ください。

【ご参考】

第2回アセットオーナー・プリンシプルに関する作業部会の議事要旨について

<https://nenkintsushin.dai-ichi-life.co.jp/download.php?c=1862>

第1回アセットオーナー・プリンシプルに関する作業部会の議事要旨について

<https://nenkintsushin.dai-ichi-life.co.jp/download.php?c=1851>

資産運用立国分科会(第4回)の開催および「資産運用立国実現プラン」の公表

<https://nenkintsushin.dai-ichi-life.co.jp/download.php?c=1813>

(1) 資料について

- 資料1では、スチュワードシップ・コード、サステナビリティ投資等について説明され、アセットオーナー・プリンシプルとの重なりについて留意する必要がある旨が示された。
- 資料2として、アセットオーナー・プリンシプルのアウトラインが公表され、以下5つの原則が示された。
なお、前回の本作業部会で民間の企業年金においては規模に応じて組織の体力を勘案する必要がある旨の意見などが出されており、今後のまとめの行方については注視する必要がある。

【プリンシプル】

原則1: アセットオーナーは、受益者等の最善の利益を勘案し、何のために運用を行うのかという運用目的を定め、適切な手続きに基づく意思決定の下、経済・金融環境等を踏まえつつ、運用目的に合った運用目標及び運用方針を定めるべきである(注)。また、これらは状況変化に応じて適切に見直すべきである。

(注) アセットオーナーによっては、運用目的が法定され、運用目標が制度上主務大臣等により定められる場合もある。

原則2: 受益者等の最善の利益を追求する上では、アセットオーナーにおいて専門的知見に基づいて行動することが求められる。そこで、アセットオーナーは、原則1の運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保などの体制整備を行い、その体制を適切に機能させるとともに、知見が不足する場合は、必要な外部知見の活用や外部委託を行うべきである。

原則3: アセットオーナーは、運用目標の実現のため、運用方針に基づき、運用方法の選択を適切に行うほか、投資先の分散をはじめとするリスク管理を適切に行うべきである。特に、運用を金融機関等に委託する場合は、利益相反を適切に管理しつつ最適な委託先を選定するとともに、定期的な委託先の見直しを行うべきである。

原則4: アセットオーナーは、ステークホルダーへ運用状況の情報提供(「見える化」)を行うべきである。

原則5: アセットオーナーは、受益者等のために運用目標の実現を図るにあたり、自ら又は委託先である運用会社の行動を通じてスチュワードシップ活動を実施するなど、投資先企業の持続的成長に資するよう必要な工夫をすべきである。

- さらに、資料3では、当日の主な論点が以下の通り提示されている。

【主な論点】

1. スチュワードシップ及びサステナビリティについて

アセットオーナーによるスチュワードシップ活動やサステナビリティにかかる活動について、アセットオーナー・プリンシプルではどのように取り扱うべきか。

また、受益者の利益を最大化することとのバランスを考慮しつつ、小規模なアセットオーナーもプリンシプルの対象にしていく中で、どのように取組みの濃淡(グラデーション)を付けていけばよいか。

2. アセットオーナー・プリンシプル(骨子案)について

アセットオーナー・プリンシプルの骨子案について、アセットオーナーの範囲が幅広いことを踏まえた内容となっているか。適用手法(コンプライ・オア・エクスプレイン)などは他のプリンシプルに照らして違和感のないものとなっているか。また、その他考慮すべき事項はあるか。

受入状況の整理・公表など策定後にどのような施策に取り組むべきか。

(2) 当日の議論

議論の内容について、現時点では公表されていない。

以上